

盛物臺

重の井子別れに使ひます

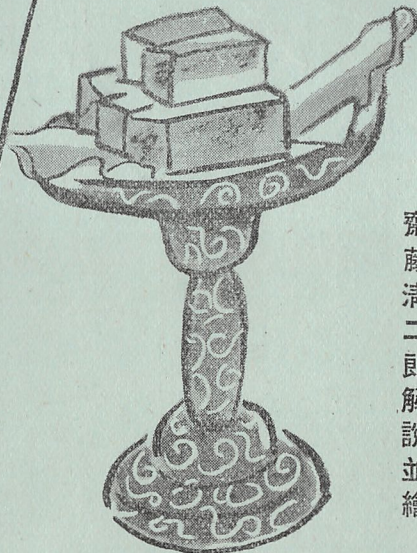
菓子は木製茶色塗

高さ 八寸
直径 六寸五分

制札

熊谷陣屋に用ひます
辨慶執筆の制札全尺

四尺六寸



★長期建設

國民精神總動員
舉國一致・盡忠報國・堅忍持久

★國を護つた傷兵護れ★金を政府に賣りませう 大阪府★

前賣切符

一等席指定券に限り五日前より左記
場所にて前賣開始致します。

四ッ橋 支樂座

心齋橋筋 京阪案内所

朝日ビル プレイガイド

電話南四七五五番
電話南一八三六番
電話北三九九五番

◇團體の御申込みは特に御便宜に御
取計ひ申上げます

◇御観覧料◇

一等席：二圓 (座席三十錢上り)

二等席：一圓

三等席：五十錢 (外に各等入場税一割)

◇御案内

お下足の用意は御座いますが
靴草履はそのまゝ御入場出來
ますので御便利です

納涼若手
人形浄瑠璃



七月初日
毎日午後四時開幕

四ッ橋

文樂座

四ッ橋 文樂座

電話南 三三七〇番
電話南 八三三番
電話南 一七四番

第一 與右衛門 色彩間蒔豆 木下川堤の段

木下川堤の段
かさね 竹本文太夫
與右衛門 竹本津磨太夫
豊竹本松島太夫
野澤八造
豊澤新太郎
豊澤廣二
竹澤吉藏
竹澤團藏
豊澤廣彌

(人形役割)
かさね 桐竹紋十郎
與右衛門 吉田玉幸
取 卷 桐竹紋太郎
取 卷 吉田玉徳

四時より四時三十五分まで

第二 一谷嫩軍記 熊谷櫻の段

熊谷櫻の段
熊谷櫻 相模 吉田文五郎
中 鶴澤叶太郎
物語りの段
前 豊竹和泉太夫
首賞 鶴澤友造
後 野澤喜代之助

(人形役割)
妻 堀原平次景高 吉田玉徳
堀原平次景高 吉田玉徳
石屋彌陀六 吉田玉蔵
軍兵 大 吉田玉蔵
百谷次郎直實 大 吉田玉蔵
源 熊谷次郎直實 桐竹門造

(幕間十分)

第三 双蝶々曲輪日記 引窓の段

引窓の段
切 豊竹本大隅太夫
豊澤廣助

(人形役割)
與兵衛の母 桐竹政龜
女房 早 吉田小兵吉
南方十次兵衛 吉田玉蔵
三平岡丹平造 桐竹紋太郎
三原傳造 吉田玉幸
濡髮長五郎 吉田玉幸

(幕間十分)

橋本の段 嫁 桐竹紋太郎

切 豊竹駒太夫
鶴澤清二郎夫

嫁 桐竹紋太郎
下女 おまつ 吉田文二郎
橋本あづま 桐竹文三郎
傾城 吉田文三郎
山崎與五郎 吉田文三郎
山崎與五郎 吉田文三郎
山崎與五郎 吉田文三郎
山崎與五郎 吉田文三郎

(幕間十分)

第四 戀女房染分手綱 重の井子別の段

重の井子別の段
豊竹呂太夫
鶴澤寛治郎

(人形役割)
乳母 重の井 桐竹紋十郎
馬方三 吉田文三郎
調 吉田文三郎
本田彌惣左衛門 吉田文三郎
こし元お福 吉田文三郎
幸 領 吉田文三郎
幸 領 吉田文三郎

(幕間十分)

第五 釣り女 九時五十分より十時三十分まで

太郎冠者
大 豊竹源太夫
美 豊竹源太夫
醜 豊竹源太夫

(人形役割)
大 豊竹源太夫
美 豊竹源太夫
醜 豊竹源太夫

文樂人形圖解 其六 齋藤清二郎解説並繪



たけうぢ 駕 甚兵衛(双蝶々曲輪日記 橋本の段)

髪、ごまのひつくり
かしらの動き、ネムリと口の開閉の二つ
肉塗

主な役處 沼津の平作、布引の九郎助、逆鱧の權四郎、楠昔噺の徳太夫等
男の老け役のかしらは他に定の進、鬼一、正宗、白太夫、舅、虎王、
等特に種類が多く何れも昔から良いかしらが保存されてゐます。

因に 橋本の段では
橋本次良右衛門(武士) かしらは鬼一
山崎與次兵衛(町人) かしらは定の進